

1	事業名称	ジャンプアップキャンプ(中学年の自然体験)				
2	新規・継続	新規			1年目	
3	趣旨	<p>小学校中学年の子どもたちが親元を離れて共同生活や自然体験活動を行うことを通して自分に自信をつけ、協調性を育み、人間関係の幅を広げるきっかけづくりとする。また、当事業の企画・運営は当施設法人ボランティアが中心となっており、教育に関する研修を深めながら子ども達の活動・学びを支援する。</p>				
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日	期間
		1回	10月22日(土)	～	10月23日(日)	1泊2日
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家				
6	募集人数	40人				
7	共催・協力・後援	後援：長野県教育委員会・山梨県教育委員会・愛知県教育委員会・伊那市教育委員会				
8	参加者人数	40人				
9	参加者類型	内訳	人数			
		3年男子	13人			
		3年女子	12人			
		4年男子	3人			
		4年女子	12人			
10	参加者地域	長野県39人，埼玉県1人				
11	参加者分析	<p>・webとFAXを用いて参加者募集を行った。早い段階で定員に達し、44名で締め切りとさせていただいた。その後のキャンセルにより40名の参加となった。</p> <p>・広報(チラシ配布)の関係で長野県内の参加者が多いが、ホームページを見た関東地方の方から参加応募があった。</p>				
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	
		90%	10%	0%	0%	
13	アンケートの主な記述	<p>・キャンプファイヤーの時、神様から火をもらえたことがとても楽しかった。</p> <p>・すぐに友だちができて、その友だちがすごく優しく嬉しかった。みんなで協力して色々なことができた。</p> <p>・チャレンジハイクで丸太に乗るゲームや盲導犬ゲームができて本当に楽しかった。初めて二段ベッドの上で寝たこともとても嬉しかった。</p> <p>・初めてのキャンプファイヤーや野外炊飯がとても楽しかった。また参加したい。</p> <p>・ボランティアの人とても優しく、すぐに友だちができた。参加して本当に良かった。</p>				
14	成果	<p>・法人ボランティアの成長(ボランティアステップアップ研修を兼ねたボラ企画事業の設定)について、当事業の企画・運営は法人ボランティアに委ねた。企画委員となった7名の法人ボランティアが約6ヶ月にわたって企画会議を重ね、各活動プログラムを練り上げていった。活動のねらいを明確化し、子ども達との関わり方について学習しながら事業の運営に当たったことで、ボランティア一人ひとりの子ども達の指導に関するスキルが向上した。</p> <p>・チャレンジハイク、キャンプファイヤー、野外炊飯、Beingなどの班活動を通して、多くの参加者が他者と協力して活動することに楽しさや喜びを感じることができた。</p> <p>・今年度新設した事業だったが、参加児童(タイニーキャンプ経験者)の保護者から、中学年のキャンプができて本当にありがたいというご意見をいただいた。各活動プログラムの内容について、よく準備されていてとても楽しかったと参加者が口を揃えて言っていた。</p>				
15	今後の課題	<p>・教育現場で課題となっている「発達障害」をもつ児童が少なからずいる。当事業の事前研修(参加法人ボランティア対象)を行う中で、発達障害の理解を含めた子ども達との関わり方に関するレクチャーを、今後も確実に行っていく必要がある。</p> <p>・企画委員となる学生によっては、企画委員会の回数や内容設定について、ボランティアコーディネーターが更に丁寧に指導に当たる必要が生じる年度もあり得る。</p>				
16	担当者メモ	<p>・子どもたちの育成のみならず、法人ボランティアの指導力育成を存分に図ることのできる事業であり、大変有意義な教育事業であると考えている。次年度以降も改善を図りながら継続すべき企画事業であることが確認できた。</p>				

17 プログラム展開

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21		
1 日 目						開 会 式	昼 食	活 動 準 備	”自然に浸り込もう” 「チャレンジハイク」 (ボランティア企画) ----- 雨天時:屋内チャレン ジハイク (ボラ企画)			夕 べ の つ ど い	夕 食	キャン プ フ ァ イ ヤ ー (ボラ企画) ----- キャ ン ド ル フ ァ イ ヤ ー (ボラ企画)	入 浴	活 動 の 振 り 返 り	就 寝	
2 日 目	起 床	朝 の つ ど い	朝 食	清 掃	”協力して作ろう~野外調理~” 「タコス・ポトフ・フルーツポン チ作り」 (ボランティア企画)			振 り 返 り	閉 会 式									

活動の様子



参加者全員でアイスプレイ



チャレンジハイク「クモの巣」



チャレンジハイクで  
班毎様々なプログラムに挑戦!



囚われの赤ずきんを皆で救え!!



神様から美しい火をいただきました!



班毎活動を振り返る「Being」



包丁も丁寧に扱えました!



火おこしも皆上手にできました!



初めてのタコスづくり, みんな大喜びでし

(担当:企画指導専門職 山崎 重幸)